

外国語科学習指導案

日時：令和2年11月26日（木）5校時
児童：岩内町立岩内東小学校 5年1組 35名
指導者：T1 鈴木 梨沙、T2 中野 大輔
ALT アリー・ミッチェル

1. 単元名 Lesson6 My Hero

あこがれの人をしょうかいしよう。

2. 単元について（学習の系統性や中学校の単元との関連等）

この単元では、「自分のあこがれの人をしょうかいしよう」という内容で、He / She を使って、自分と相手以外の第三者について説明する場面である。「あこがれの人」ということで、有名人だけではなく、身の回りの頑張っている人も「ヒーロー」であることを伝える。

中学校では、中学1年生1学期に学習する「This is～.」や「He / She is ～.」を学ぶ。児童は、今まで自分のことを示す「I」や相手にたずねる「Are you～?」「Do you～?」を使って会話を行っていたが、新出表現である He / She を使って初めて第三者について話をする単元である。そのためこの単元をきっかけに、自分と相手以外のこと、友達や好きな有名人などについても話ができるようになると、児童の視野が広がり、外国語で話す内容も増えてくると考える。

また、発表のために紹介したい人についてメモを書いていく際に、英文の最初は大文字、人名の姓と名の最初は大文字など、アルファベットの大文字と小文字のルールについても学ぶことができる単元である。

なお、本単元では、発表に向けた活動において、見通しや振り返りを適切に位置付け、ペアでの練習等を十分に行うなど主体的・対話的な学びを行うとともに、「あこがれの人を紹介するため、3人称という他者の存在に着目し、新出表現を活用して発表原稿を作成し、全体やグループの前で発表する」という見方・考え方を働かせた深い学びを行っていききたい。

（参考：外国語の見方・考え方＝「外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること」）

3. 児童の実態

本学級の児童は、第3・4学年で各35時間の外国語活動を行ってきており、児童の多くは外国語の時間を楽しみにしていて、全体的に明るい雰囲気外国語の学習に取り組むことができている。また、教え合いの習慣があり、外国語学習が苦手な児童を置いていかないように活動できる児童たちである。ただ、授業中の発表において、答えが明確なときは、積極的に発表することができるが、考えないと分からないことは、固定の児童しか発表しないことが多い。

挨拶や天気、日付や曜日の言い方などは、毎時間授業の初めに繰り返し話していることであり、それによって色々な挨拶の仕方があることを知り、日付や曜日などの言い方も定着してきている。また、ALTの発音を聞いてより正確に発音しようとしたり、日本語と英語の発音の違いに気づくこともできている。

コミュニケーション活動においては、英語を話すことに抵抗感が少なく、わからない言葉があっても自分から先生や友達に聞いたりしながら活動に取り組むことができる児童がいる一方、英語への自信が持てずに自分から友達に話しかけられない児童や声の大きさを工夫するなど相手意識を持って伝えるということに課題がある児

童もいる。そのため、自分の考えや思いを友達に伝える活動の前段階で必要な表現に慣れ親しむための活動を十分に取り入れ、グループや全体で活動するようにしている。

4. 単元の目標（「話すこと【発表】」）と評価規準

あこがれの人を紹介する言い方を理解し、自分のあこがれの人を紹介することができる。また、アルファベットの大文字と小文字のルールを理解し、活字体で書くことができる。

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|---|
| <p>①ヒーローについての話のおおよその内容を理解することができる。（聞くこと）（読むこと）</p> <p>②最初の文字を大文字で書くときのルールについて気付き、正しく書いている。（書くこと）</p> | <p>①自分にとってのヒーローについて発表することができる。（話すこと【発表】）</p> <p>②できることについてたずね合ったり、紹介し合ったりしている。（話すこと【やりとり】）</p> <p>③ヒーローを紹介する文を参考に自分が発表するためのメモやポスター（スピーチ原稿）を作ることができる。（書くこと）</p> <p>④大文字と、それに対応する小文字を正しく線で結んでいる。（書くこと）</p> | <p>①単元の見通しを立てて、学習に取り組んでいる。</p> <p>②他者に配慮しながら、あこがれの人を紹介しようとする。</p> |

5. 小・中学校間の学びの関連・系統性

【小学校】

5年生～：He(She) is ～ .の否定文、疑問文
 He(She) can ～ .の否定文
 Who is he(she)? 等の Wh 疑問文



【中学校】

1年生～：He(She) is ～ .の否定文、疑問文
 He(She) plays ～ .等、「3単元のs」の否定文、疑問文、Wh 疑問文
 He(She) can ～ .等、助動詞の文の否定文、疑問文

6. 単元の指導計画

| 時間 | 学習内容 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|-------------|---|---|--|-----------------------------|
| 1 | ブラウン先生やジムのヒーローについての話を聞いて、おおよそ理解できる。 | ①ヒーローについての話のおおよその内容を理解している。 (聞くこと) | | ①単元の見通しを立てて、学習に取り組んでいる。 |
| 2 | 和也のヒーローについての話を聞いて、おおよそ理解するとともにできることを表す表現に慣れ親しむ。 | ①ヒーローについての話のおおよその内容を理解している。 (聞くこと) | ②できることについてたずね合ったり、紹介し合ったりしている。(話すこと【やりとり】) | |
| 3 | ハンナのヒーローについての話を聞いて、おおよそ理解する。 | ①ヒーローについての話のおおよその内容を理解することができる。 (聞くこと) | | |
| 4 本 時 | 例文を参考に自分のヒーローについてのスピーチ原稿を作成する。 | ①ヒーローについての話の内容を理解することができる。(読むこと) | ③ヒーローを紹介する文を参考に自分が発表するためのメモやポスター(スピーチ原稿)を作ることができる。(書くこと) | |
| 5 | 自分のヒーローについて発表する。 | | ①自分にとってのヒーローについて発表することができる。 (話すこと【発表】) | ②他者に配慮しながら、あこがれの人を紹介しようとする。 |
| 6 | 大文字・小文字のルールを知る | ②最初の文字を大文字で書くときのルールについて気付いて、正しく書いている。(書くこと) | ④大文字と、それに対応する小文字を正しく線で結んでいる。 (書くこと) | |

7. 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・ヒーローを紹介する例文を参考に自分が発表するためのスピーチ原稿を作ることができる。
- ・ヒーローについての話の内容を理解することができる。

(2) 展開

| 時間 | 生徒の活動 | 教師 (T1・ALT) の働きかけ | ○留意点、◎評価 (T2) |
|---|---|---|--|
| 導入 5分 | <ul style="list-style-type: none"> ・ It' s Thursday. ・ It' s November 26th ・ It' s ~. | <ul style="list-style-type: none"> ・ 曜日、日付、天気について質問する。 | |
| 課題:自分のあこがれの人(ヒーロー)についてのスピーチ原稿を作成しよう。 | | | |
| 展開 35分 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 表現をリピートする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>This is ~. He / She can~. He / She is good at ~ He / She is my hero.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 未希のヒーロー紹介を聞く。 ・ 英文をリピートする。 ・ ペアで一文ずつ交互に読む練習をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>スピーチ原稿の作成</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 習った表現を使って、4文で紹介文を書く。 ・ 早く書けた児童は、声にだして話す練習をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 前時で学習した人を紹介する際の表現を復習する。 ・ 表現を確認し、リスニングの内容を予想する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>Let' s Listen 5</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>Let' s Read and Write</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 英文を読む。 ・ 内容を確認する。 ・ スピーチ原稿の書き方を説明する。 <p>※姓と名の最初は大文字で書く、語と語の間をあける、等を伝える。</p> <p>※「～です。」「～が得意です。」「～ができます。」という表現だけで紹介することを伝える。</p> | <p>○人を紹介する表現は、単元全体を通してチャンツやリスニングでよく使われる表現を復習する。</p> <p>◎ヒーローについてのおおよその内容を理解することができる。【行動観察】</p> <p>○事前に、どんな人を紹介するのか日本語で書いたメモをもとに作成する。</p> <p>○児童が使用する表現をあらかじめ、全体で伝えておく。</p> <p>◎ヒーローを紹介する例文を参考に自分が発表するためのスピーチ原稿を書くことができる。【ワークシート】</p> |
| 終末 5分 | <ul style="list-style-type: none"> ・ This is ~. ・ He / She can~. ・ He / She is good at ~ ・ He / She is my hero. | <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回、スピーチを行うことを予告する。 | |
| まとめ:スピーチに向けて、人を紹介する時の表現を振り返ろう | | | |

